

平成 17 年度総会資料

平成 18 年 3 月 23 日(木)
さいたま市民会館浦和

埼玉県トライアスロン連合(STU)
<http://www.stu-triathlon.com>

平成 17 年度埼玉県トライアスロン連合活動報告

埼玉県トライアスロン連合理事長、長谷利孝

平成 17 年度の、埼玉県トライアスロン連合(STU)の活動は以下の通り。

1. 例年通りの大会運営、組織運営、審判活動育成に加えて、今年度から強く意識して活動を始めたことは次の 2 点

- A. 環境に優しいトライアスロン大会の実践
- B. 将来 世界に伍して戦うことができるトップ選手強化に繋がる組織的な強化プログラムの実践

A. は、大会における焼却ゴミ排出を最終的にゼロとすることを目指し、又、大会のスイム会場の水質改善活動を推進した。具体的には、以下の通り。

- 選手に協力を呼びかけ大会における廃棄物分別を強化。当然PETボトルと紙ダンボールは行政のリサイクル回収へ、生ごみは会員のコンポスターへ活用。
- 大会で使用した紙コップを全て回収し、塗布ワックスを溶かしてリサイクルする技術を開発した特別な業者に料金を支払ってリサイクルを実現。
- 従来プラスチック製で全て焼却ゴミとなった弁当を紙製に変更(コスト高だが)。食後の分別と箱の水洗い後、古紙回収ルートに乗せた(紅葉チャレンジ大会で実現)。
- 埼玉スタジアム大会スイムコースの水質改善のために、EM団子(1000 個)製作・投入。更にEM活性液を毎週 100 リットル、計約 1 トンを投入。(05 年度大会用)
- 同上の活動を 06 年度大会に向けて、11 月から準備開始。EM団子を都合 10000 個(前年の 10 倍)既に製作し貯水池に投入済み。06 年度も更に 10000 個実施予定。

(評価) 環境に優しい活動は、05 年度の JTU 環境委員会の主要テーマとして注目を浴び、JOCの環境セミナーでも公開された。

今後本競技を長期に亘って発展させていくためには、地道な努力が必要。05 年度の活動はその端緒として意義深い。今後の課題は、参加者(選手)への啓蒙であり、意識付けである。関係者に少々の負担や不便をお願いしてでも、参加者と運営側の双方が協力して、環境負荷の少ないイベントを実現することが必要。

水質の改善は、県内の公園における同様なケースの改善モデルとなりうるもので、05 年度の結果の良否にかかわらず、06 年度は更に強化し、劇的な効果を期待する。

- B. STEP(埼玉トライアスロン奨励プログラム)の実施。計 6 回の専門的な講習会を実施。うち 5 回は本邦を代表するプロの指導者を招聘。従来は得られなかったレベルの講習を会員が安価に受講できる環境を整えた。受講者延べ約 200 人

2. 大会、記録会の運営

- '05彩の国トライアスロン大会 兼 第10回関東トライアスロン選手権大会 兼 ジャパンスーパートライアスロン駅伝渡良瀬ステージ：

6/5(日)参加者 約250名。

関東選手権大会の改善点：日本選手権運営の試行とするため、以下の新たな施策を導入した。

1. スタートイングリッド(レッドカーペット)により、スタート方法の改善(ボンツーン導入は次回以降への課題)
2. スタート時間の変更により、男女バイク競技時間を完全分離。
3. バイクコース変更により周回数を6周とし、3・4・5周終了時にラップボーナス制を導入。
4. ホイルストップを本部交差点近くに設置
5. 第1、第2トランジションエリア分離により、トランジションの流れがスムーズに変更。エリアは全てカーペットで分離。
6. Gap Time(周回毎の先頭からの時間差)を表示。先頭集団には定点にて、後続集団との差を表示。
7. ランコースの難易度アップ。アップダウンを設け、ランの実力差を大きくさせる。従来の30m登り下りを、80m登り下りに。

評価：選手権として全国初の試み(3,6など)を導入し、日本選手権への適用のための検討材料が得られた点は非常に有意義であった。

- 第3回全国チャレンジ KIDS 大会トライアスロン大会：05 年 6 月 26 日(日)川越水上公園、参加者が 400 名を超え、人気の定着を窺わせた。川越水上公園での大会は 4 回目。全国区用の名称に変更して 3 年目であり、日刊スポーツ新聞社が共催者となった。そのため全国広告をうつことができ、本大会のステータ 05/7/10(日)チームケズカップアクアスロン大会イン西武園遊園地 参加者約 150 名
- ダイヤモンドキッズトライアスロン大会：05 年 7 月 17 日(日) 約 240 名 狭山市立入間川小学校

900名を超える参加希望者が殺到し、抽選会を行って入間・狭山・所沢・飯能の4市在住の小中学生のみに参加許可を限定した。非常に盛況だったため狭山市の希望により06年度もSTU主催で開催される。本大会がジュニア世代への普及にもたらした影響は大きく、JTUでも事例研究として広く紹介された。

- **’05 埼玉スタジアムトライアスロン大会**：05年8月28日(日)埼玉スタジアム 2002 公園。参加者約 250 人。
第3回目。前記のように、埼玉スタジアム貯水池の水質改善のために、春からEM菌による水質改善活動を実施。毎週EM活性液の投入と水質検査を続けた。結果、成分的には浄化が進んでいるものの、湖底のヘドロは完全には解消しきれず、炎暑の時期につき、EM団子による善玉菌が悪臭やヘドロの元となっている悪玉菌を駆逐するには至らなかった。結果、水の綺麗さという見栄えの点では、昨年と全く変わらず。しかし少し匂いは抑えられた。これは水量が適量の降雨により維持できたことも幸いしている。レーススタイルは例年通りであり、出場選手には十分定着したと思われる。平成18年度の大会に向けて、平成17年度の反省としては、EM菌による浄化活動を、水温の上がる春以前から地道に行い、悪玉菌が活動を始める前に善玉菌の巣を確立しておくことが望まれる。
 - **第3回川越アクアスロンエキデン大会**：05年9月11日(日)川越水上公園
STU主管で昨年どおり実施。事務局が従来のランナーズからSTU加藤事務局長に移転。ますます盛大に実施。
 - **05日東紅茶カップ 紅葉チャレンジトライアスロン/デュアスロンフェスティバル**：05年10月30日(日)渡良瀬遊水地
昨年開始したデュアスロンとトライアスロンの同時実施開催イベントで今年が2回目。今年から大会名を「紅葉チャレンジ」と秋を強く意識した名称とした。水温によってトライアスロンに自信がなくなった選手は、直前にデュアスロンに変更が許され、第1ランとスイムが同時スタートし殆ど同時のフィニッシュとなるように設計されたコース。TA大会としては、本州ではもっとも遅い時期の開催で、冷たくなりがちな水温の中でどのように無事にスイムをこなせるかが重要だったが、今年は暖かく、水温も19度と着用義務のウエットスーツを着ていればさほど問題とはならない条件。汗ばむような陽気の中、昨年よりも大幅に増えた参加者約360名が完走した。今年の特筆事項は以下の通り
 1. トランジションエリア場所変更：トランジションエリアを彩の国大会と同様、下宮橋交差点脇の広場に移設。→ 今後の参加者増に対応可
 2. スイムを南ブロックで昨年と同様に実施：これは、今年度から適用が始まった渡良瀬遊水地利用者の自主ルール、「水泳等は北ブロックを使う」を、例外として認めさせたもの。又、コースブイやマーカーの設置を合理化し、省人数(8名)でスイム全般管理を実現。→ 来年度以降の開催場所の既得権確保。
 3. バイクの折り返し地点の移動：昨年のバイクコース折り返し点は下宮橋交差点広場。そのため、広場が、フィニッシャー、スイム終了者、および応援者らで混雑した。今年折り返し点を同交差点から中の島側に約30m寄った地点としたため、混雑が緩和された。→合理的なコース改善と時間帯によるコントロールの高度化対応。
 - **カーフマンデュアスロンシリーズ第4戦北関東ステージ(国営武蔵丘陵森林公園)**：05年12月18日(日)開催、参加者約180人
昨年春に第1回が行なわれたJTU主催のデュアスロンシリーズ。他のレースロケーションに比べて、技術度、体力度共にレベルの高いものが求められるコース設定とし、上級者が充分楽しめるイベントとした。今年は気候的に恵まれて特段の問題点無し。
 - **STU認定記録会(埼玉会場)実施予定**：06年3月26日(日)、朝霞市陸上競技場。参加80人。
昨年3月に初の午後開催として実施。評判が良かったため、今年も午後開催で実施予定。
3. JTU構成県組織としての普及、広報、その他総務一般活動は以下の通り
- JTU会員登録(STU会員約500人(一般約320名、ジュニア180名))へSTU会報(年2回)や大会要項等の関連情報の送付。理事会は年10回開催。
 - 今年からSTU Web上から大会申し込み、および会員申し込みのWeb申し込みを可能とした。(愛知に次いで全国で2県目)
 - 年末にSTUグランプリを開催し、優秀選手への表彰、大会関係者への謝恩を兼ねたSTU会員からの生の声を聞くイベントを実施中
 - JTU公認審判員講習会、検定試験の主催：06/2/26 受験者数：第2種1名、第3種公認審判員1名新たに誕生

以上

平成17年度STU本収支

埼玉県トライアスロン連合

収入	内 容	決算
前期繰越		6,444,471
会費収入		1,026,800
大会主管料収入	彩20万、埼4.4万、ﾀｲﾌﾟ5万、川ｱｸ5万、紅ﾁﾔ25万、ｶｰﾌ20万、全ﾁﾔ6万	854,000
備品購入費負担分収入	彩大会50,000円、埼ｽﾀ5,775円	55,775
事務局通信費負担分収入	彩大会30,000円、埼ｽﾀ90,000円	120,000
事務局費負担分収入	彩大会90,000円、埼ｽﾀ150,000円	240,000
大会剰余金	彩大会6,012円、埼ｽﾀ16,882円	22,894
各種預かり金		279,181
THE STEP 収入	第1回～6回分	112,000
認定記録会参加費		103,500
審判員試験検定料		60,000
その他収入	07彩、埼ｽﾀ、狭山ｷｯｽﾞ参加費含む	164,500
協賛金		10,000
通帳利息		47
収入計		3,048,697
支出	内 容	金額
大会器材購入費		11,377
JTU登録料		340,700
JTU分担金等		90,000
JTU預り金返金		10,000
STU立て替え金支払い		283,881
大会事務局費		180,000
通信費(郵便)		112,075
通信費 3(電話)		162,125
栄養費・強化費	05STUｱｰﾄﾞ商品券&商品	30,265
飲食費	ｼﾞｬﾝｸﾞﾙ作戦ﾄﾘﾝｸ代、全ﾁﾔｷｯｽﾞ弁当代、狭山ｷｯｽﾞ前日設営ﾄﾘﾝｸ代et	133,648
謝礼金	資材置き場、紅葉ﾁﾔ日当、04記録会謝礼、clifman日当代	245,500
旅費交通費	事務局大会打ち合わせ、埼ｽﾀ浄化作業など	15,350
STU事務局費		360,000
会計事務費		120,000
インターネット管理費	更新料、管理料、作成料等	298,642
認定記録会	ﾌｰﾙ、ｸﾞﾗﾝﾄﾞ使用料	90,620
THE STEP 経費	講師謝礼代、保険料、通信代、飲食代	259,003
支払手数料		550
消耗品費&STU備品	ﾙｰﾙﾌﾞｯｸ購入代、埼玉ｽﾀｼﾞｱﾑ水質蘇生経費含む	239,380
印刷費		6,142
会議費	彩、埼玉ｽﾀｼﾞｱﾑ大会会議室費は含みません	48,390
その他支出	彩大会参加費加納金、埼ｽﾀ参加費返金、記録会保険料	18,868
支出計		3,056,516
	残高	6,436,652

【備考】

平成17年度取支残高計	6,436,652
平成17年度内における平成18年度分年会費・大会参加費収入	201,100
平成17年度STU本収支残高	6,235,552

その他年会費複年支払等を本収支に含む

平成 18 年度埼玉県トライアスロン連合活動方針

平成 18 年度の埼玉県トライアスロン連合(STU)活動方針及び活動計画は以下の通り。

1. 活動方針

- 平成17年度に開始した一般を含めた継続的な普及促進企画を開始する。(STEP、年間 6 回)
- 08 年北京五輪以降の日本代表候補選手を多数輩出すべく、ジュニア世代への普及と強化の両輪を意識した活動を行う。(STEP+普及イベント+会員登録の促進)
- 09 年新潟国体で公開競技となることが決定したことに伴い、県体協加盟活動を本格化させる。(目標加盟年度 2007 年末)
- 多様なニーズに応えられる体質強化と、会員が参加意識を持てるような組織作りを、IT 技術を駆使して効率的に行う。

2. 大会運営活動

- 主催/主管/支援予定大会

日時	大会名	場所	目的等
5/28(日)	'06 狭山ジュニアトライアスロン大会	狭山市立入間川小	小中学生への TR の体験・競技機会提供。
6/4(日)	'06 彩の国トライアスロン大会イン北川辺、関東選手権大会	渡良瀬遊水地	トップ・一般選手向け中長距離 TR 機会提供、大学等の初心者向けの場も創設
6/25(日)	第 4 回全国チャレンジ KIDS トライアスロン大会	川越水上公園	小中学生への TR 競技機会提供、保護者への競技アピール。学校対抗意識鼓舞
7/15(土)	ケズカップアクアスロン西武遊園地大会	西武園	初心者へのアクアスロン機会創出。
8/28(日)	'06 埼玉スタジアムトライアスロン大会	埼玉スタジアム	初心者(一般ジュニア)への TR の体験・競技機会提供。環境への配慮のアピール。
9/10(日)	'06 川越アクアスロン駅伝大会	川越水上公園	初心者がマルチスポーツの楽しさを体験できる機会の提供
10/29(日)	'06 日東紅茶杯 紅葉チャレンジ TA/DA 大会	渡良瀬遊水地	一般競技者、初心者向けオフシーズンの競技機会提供
12/17(日)	Calf man デュアスロンシリーズ北関東ステージ	武蔵丘陵森林公園	中上級選手のための競技機会(デュアスロン大会)提供
'07 年 3 月	STU 認定記録会	朝霞市	トップ選手の夢を実現させるための環境の充実

3. 会員及び競技協力者の拡大および競技レベルの強化活動

- 登録会員数:登録者数 550 人以上(一般 350 人以上、ジュニア 200 人以上)を目指す。(平成 17 年度の登録者は 323(一般)+177(ジュニア)の約 500 人)
- STEP(埼玉トライアスロン奨励プログラム)および、年末の STU グランプリ継続実施。会員が自由に参加できる「場」の創出と会員間コミュニケーションの活性化。
- 初心者向け講習会開催(STU 主催を複数回(狭山市など 5 月頃から、STEP 中でも実施)、中上級トライアスロン講習会開催の検討(平成 18 年 2~3 月、STEP))

4. STU 組織運営活動

- 専門委員会制の強化 : 各委員会は、サイバー組織も可(アンダーラインは重要活動)
 - 技術委員会: 大会における審判活動統括、競技技術・審判技術等の向上と研鑽、審判員試験の実施、上級審判員の育成など。
 - 総務委員会: 事務局運営、大会の一般総務案件担当、体協加盟活動支援、総会運営等
 - 広報・普及委員会: 会員数拡大のための諸活動、会報の作成等 広報活動統括、年間協賛企業募集、HPのメンテナンス
 - 強化/ジュニア強化委員会: トップを目指す選手の発掘、育成支援、派遣補助。特にジュニアのサポート。指導員のネットワーク作り

5. 環境を強く意識した活動継続:

大会におけるゴミゼロ、焼却物ゼロの実現を目指す。(彩の国、埼玉スタジアム大会、および紅葉チャレンジTA/DA大会)

平成 18 年度(2006 年度)埼玉県トライアスロン連合主管大会一覧

2006 年 4 月 1 日 現在

日時	大会名	場所、事務局	目的等	カテゴリー	参加費等条件
06/5/28(日)	狭山ジュニアトライアスロン大会	狭山市立入間川小 事:STU	ジュニアの参加機会増	小学生、高・中・低学年の部、及び中学生 合計約 150 名程度	1500 円
06/6/4(日)	'06 彩の国トライアスロン大会、 第 11 回関東トライアスロン選手権大会	渡良瀬遊水地 事:STU	トップ選手、一般競技者向けミドル・ ショート、スプリント競技機会、及び、 いずれかの種目のみに自信ある、ト ライアスロン初心者へ機会を提供	A タイプ(ミドルディスタンス) B タイプ(オリンピック) C タイプ(スプリント) SBタイプ(スイム+バイク) ケンズ杯 スーパー駅伝の部 関東選手権 以上計 570 人	A:14,000 円 B、C:12,000 円 SB:11,000 円 関東選手権:10,000 円 スーパー駅伝の部:30000 円(学生は 26000 円)
06/6/25(日)	'06 全国チャレンジ KIDS トライアスロン大会	川越水上公園 事:川越水上公園 委託)STU	小中学生への競技機会提供、父兄 一般への競技アピール土曜日、日 曜日朝は、トライアスロン教室を実 施。多くの子供たちを啓蒙する	土曜日、日曜日朝は小学生、高・中・低学年 中学生、各学年表彰 以上計 500 人	2,500 円/1000 円
06/7/15(土)	トーチンチームケンズカップ西武園 ゆうえんちアクアスロン大会	西武園遊園地 事:(有)ケンズ			
06/8/27(日)	'06 埼玉スタジアム トライアスロン大会	埼玉スタジアム 2002 公園 事:STU	手軽なロケーションで手軽に参加で きる大会。整備された施設を使った 未来感覚の大会。	スプリントディスタンス 200 人 スーパースプリントディスタンス 100 人 ジュニアの部(小中学生) 150 人	JTU 登録者は 10,000 円 JTU 非登録者は 2000 円増 し)高校生 8000 円 ジュニアは 2500 円
06/9/10(日)	'05 川越アクアスロン駅伝	川越水上公園 事:(有)オール・フォ ーワン	初心者が マルチスポーツの楽しさ を経験できる機会の提供	駅伝のアクアスロン。手軽に誰でも参加できる 大会。キッズ(個人)の部新設	10,000 円/チーム 小学生 1,500 円 中学生 2,000 円
06/10/29(日)	'06 紅葉チャレンジトライアスロンデ ュアスロンフェスティバル	渡良瀬遊水地 事:(有)ケンズ	一般競技者、中学生以上の初心者 向けオフシーズンの競技機会提供 トライアスロン初心者の参加機会	合計で約 400 人	TA は 12000 円 DA は 7000 円 程度
06/12/17(日)	カーフマンジャパンデュアスロンシリ ーズ北関東ステージ	武蔵森林公園 事: ネオシステム	一般競技者向けオフシーズンの競 技機会提供	デュアスロンで約 200 人	8000 円

平成18年度収支予算

埼玉県トライアスロン連合

平18/4/1～平19/3/31

収入	内訳	固定額	単価	個数	予算額
会費収入(大人)	350人*3500円		3,500	350	1,225,000
会費収入(ジュニア)	200人*300円		300	200	60,000
備品購入費負担分収入	設備購入費収入、彩の国(10万円)、埼玉スタ(10万円)、紅葉Fes(5万円)	250,000			250,000
大会主管料収入	彩の国(20万円)、埼玉スタ(10万円)、紅葉Fes(20万円)、カーフマン(20万円)、キッズ(10万)	800,000			800,000
事務局通信費負担分収入	彩の国(15万円)埼玉スタ(15万円)	300,000			300,000
大会事務局費負担分収入	彩の国(3ヶ月)埼玉スタ(3ヶ月)		50,000	6	300,000
強化収入	STEP参加費等		1,000	200	200,000
イベント収入、その他	審判検定料認定料(30k)、記録会(90k)	120,000			120,000
前期繰越					6,436,652
収入計					9,691,652
支出	内訳				予算額
JTU 登録費(大人)	一般350人*1000		1,000	350	350,000
JTU 登録費(ジュニア)	200人*100		100	200	20,000
JTU分担金等	評議員、理事分担金(50k)、関東B(50k)	100,000			100,000
JTU審判員認定費	3種(2000円)6人、2種(3000円)4人	24,000			24,000
大会等イベント主管費用(人件費、会場費その他)	主管のための審判、諸費用負担 カーフマン(10万)、KIDS(6万)、紅葉Fes(10万)、記録会(9万)	350,000			350,000
大会事務局費	3万*6ヶ月		30,000	6	180,000
会計事務費	1万円*12ヶ月		10,000	12	120,000
通信費(電話)	通信費(13k*12)		13,000	12	156,000
通信費(郵便)	300*80円*3		240	300	72,000
プロバイダー契約料	12000円/月		12,000	12	144,000
HP管理維持費	年間12万円		30,000	4	120,000
備品購入費	設備購入(無線機等)(200k)	200,000			200,000
環境対策費	埼玉スタ貯水池浄化(250k)、ゴミ対策研究等(50k)	300,000			300,000
栄養費・強化費	選手強化費・STEP実施費用(ネット)(200k)	50,000	35,000	5	225,000
交際費	慶弔費用等		15,000	3	45,000
旅費交通費	大会打合せ、準備、JTU会議出席等にかかる交通費		12,000	12	144,000
STU事務局費	3万円*12ヶ月		30,000	12	360,000
支払手数料			315	10	3,150
消耗品	消耗品費、印刷代等		10,000	12	120,000
会議費	会議室代(6000*10)		5,000	12	60,000
支部(地区協会)補助金	平成17年分埼玉葛25人、SAITOH30人*1250円		1,300	55	71,500
その他		50,000			50,000
支出計					3,214,650
現金預貯金(次期繰越し)					6,477,002

予算案作成上の前提:

*1)大会参加収入及び大会運営費は全て大会個別会計に移管
よって、平18年度の大会参加収入予定約900万円と大会運営費予定約700万円は以上のSTU本会計から切離してある。

埼玉県トライアスロン連合役員名簿

平成18年4月1日現在

STU役職	氏名	職業・STU/JTU役職・資格	住所
会長	島村 慎市郎	埼玉県公園緑地協会前理事長、元越谷市長	越谷市
副会長	浅田 浩之	上柴クリニック医院長	深谷市
理事長	長谷 利孝	ASTC技術委員長、JTU技術・審判委員長①	北葛飾郡松伏町
副理事長	本田 孝夫	総務委員長、JTU普及委員、②	仙台市宮城野区
副理事長	垂石 清	財務委員長、JTU評議員、関東ブロック監事、②	春日部市
理事	加藤 稔	事務局長、JTU中級指導員、②	所沢市
理事	川口 節子	STU経理担当、②	越谷市
理事	池田 友彦	JTU関東ブロック理事、②	蕨市
理事	新井 正	技術委員長 ②	さいたま市中央区
理事	千葉 徹	②	幸手市
理事	伊藤 士朗	③	さいたま市岩槻区
理事	辻谷 政久		富士見市
理事	辻谷 博之	③、JTU環境委員	富士見市
理事	矢作 仁志		上尾市
理事	関根 範之	②	熊谷市
理事	長村 昭男	②	上尾市
理事	佐藤 吉朗	②、JTU強化委員、JTU初級指導員	千葉県野田市
理事	松前 弘史	②	川越市
理事	神田 正己	②	草加市
理事	森 敦紀	JTU初級指導員、ジュニア強化委員	上尾市
理事	新井 廣子	③	鴻巣市
理事	茂木 絢香	③	吹上町
理事	山本 浩一	強化委員、普及委員	小川町
理事	伊藤 真一郎	強化委員、普及委員	東松山市
理事	井上 明次		和光市
理事	山下 博明	③	朝霞市
理事	半田 恵里		東京都西東京市
理事	中道 威夫		所沢市
特別理事	中山 正夫	ITU技術委員、ASTC副会長、JTU事務局長、①	越谷市
特別理事	富田 典行	STU前副理事長	さいたま市大宮区
特別理事	金子 宏	STUスポーツ医	戸田市
監事	高橋 肇	STUスポーツ医、③(高橋皮膚科医院:北本市)	上尾市
監事	尾崎 毅	STU担当弁護士(熊谷・尾崎法律事務所:東京都港区南青山)	越谷市

支部役員

埼玉葛協	河野 隆之	③、埼玉葛協会理事長	越谷市
埼玉葛協	国武 千秋	埼玉葛協会事務局長	越谷市

摘要)①・②・③:JTU 1種・2種・3種審判員

埼玉県トライアスロン連合(STU)事務局:連絡先 〒359-1112 埼玉県所沢市泉町906-35 加藤方 TEL:090-3213-6535/070-5582-2167 TEL/FAX:04-2926-1831
--

理事長:長谷利孝 E-mail:toshitaka.nagaya@fujixerox.co.jp E-mail:tknagaya@s5.dion.ne.jp TEL:048-991-6887/070-5544-4446, FAX:048-991-6887
事務局長:加藤 稔 E-mail:pi7m-ktu@asahi-net.or.jp 090-3213-6535/070-5582-2167
副理事長・総務委員長:本田孝夫 E-mail:tk-honda@sd5.so-net.ne.jp
副理事長・財務委員長:垂石 清 E-mail:fwnd9882@mb.infoweb.ne.jp